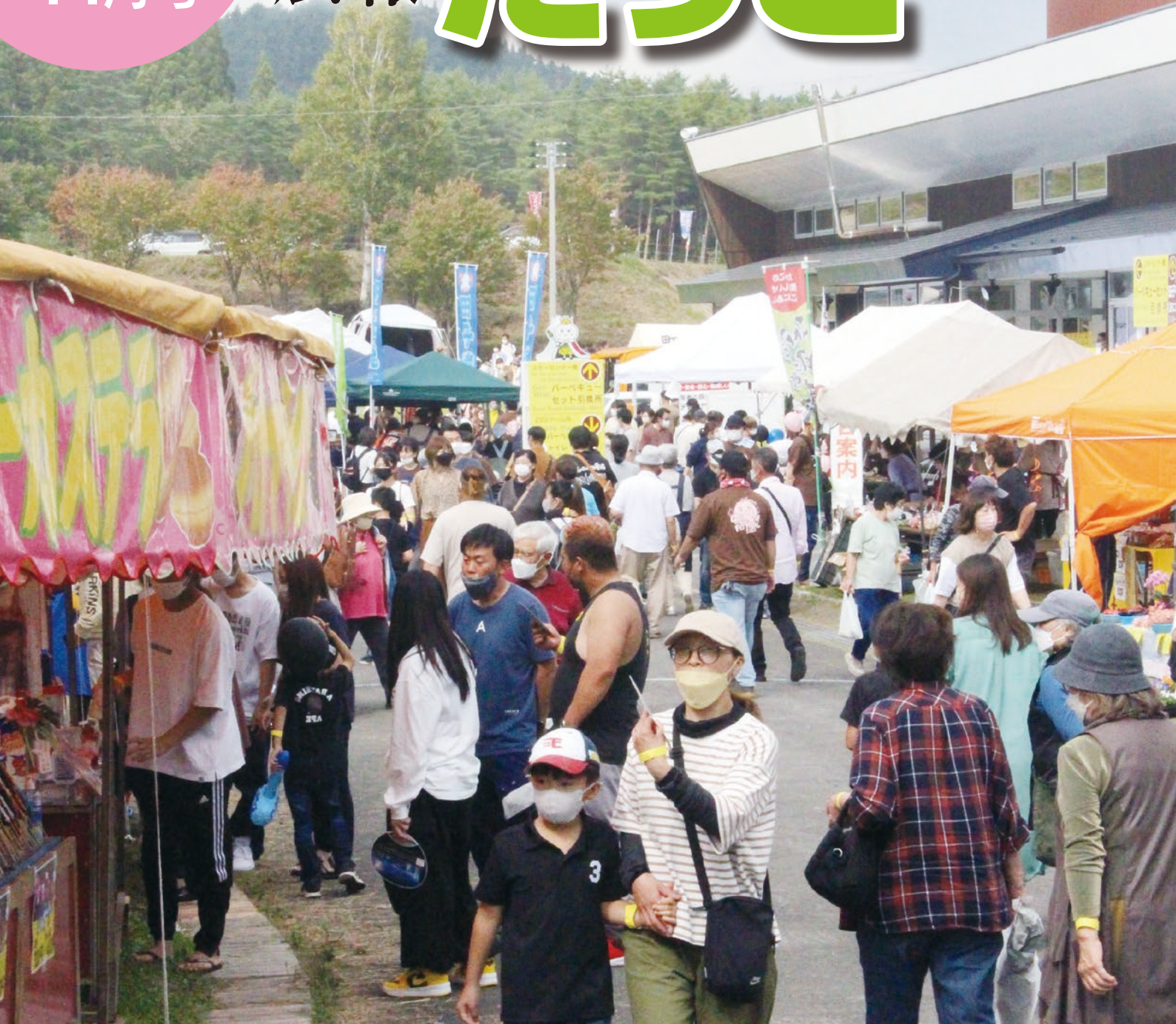


2022年
令和4年
11月号

広報

たっこ



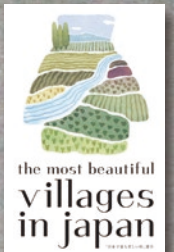
3年ぶりに現地開催！6千人が来場！

10月1日・2日の2日間、創遊村229スキーランド特設会場で、「第37回にんにくとべごまつり」が開催され、2日間で約6千人が訪れました。詳しくは2ページをご覧ください。

[CONTENTS]

- 今月の話題…………… 2
第37回にんにくとべごまつり
第2回田子町農産物料理コンテスト
- トピックス…………… 4
田子町オリジナル品種「たっこ1号」種子分譲
世界黒にんにくサミット in 田子2022 ほか

- お知らせ…………… 7
- 公民館情報…………… 10
歴史講座、健康ウォーク2022 ほか
- 図書館情報…………… 11
この一冊に、ありがとう 第76回読書週間
- 情報スクランブル…………… 12
学校の話 たっここども園 ほか



第37回

Takko Garlic & Beef Festival 2022

にんにくとべごまつり



田子牛を楽しむ来場者のみなさん



ステージを盛り上げた仲本工事さん夫婦



多古町の物産ブース



田子幼稚園児によるかわいいダンス



世界にんにく飛ばし大会チャンピオン



にぎわった出店ブース

10月1日・2日の2日間、創遊村229スキーランド特設会場で、第37回にんにくとべごまつりが開催されました。新型コロナウイルス感染症の影響で、現地開催されるのは、3年ぶりとなります。

1日の歓迎セレモニーで、釜淵嘉与実行委員長が「新型コロナウイルス感染症の中でどんな方法で開催できるか、たくさん話し合いをしました。そんな中でたくさんの方のボランティアが集まり、開催できることは非常にありがたいと思っています。今日は至らないところもあるかもしれませんが、楽しんでいただければと思います」とあいさつし、にんにくとべごまつりがスタートしました。

今年は、災害時における相互援助協定を結ぶ千葉県多古町からゲストが来町し、一緒にまつりを盛り上げました。

出店ブースでは、多古町、秋田県鹿角市、が地域ごとの特産品を販売して地域をPRしました。

ステージでは、園児らの元気いっぱいなダンス、田子牛やにんにく加工品などが当たる「田子まるごと抽選会」、的を狙ってにんにくを飛ばす「にんにく射的」、にんにくの飛距離を競う「世界にんにく飛ばし大会」など来場者参加型イベントが多数行われました。他にもタレントの仲本工事さんと妻の三代純歌さんによるスペシャルライブ、フラダンスのパフォーマンスなどで大いに盛り上がりました。

両日とも、天候に恵まれ、2日間合わせて約6千人が来場し、田子牛のバーベキュー、町の特産品など、田子の味を堪能しました。

第2回 田子町 農産物料理コンテスト

テーマ：「田子町産 にんにく」と
「田子町産 野菜」を、あわせて
使用したレシピ



最優秀賞の古田和子さん(右)と山市愛唯音さん

9月23日、田子町中央公民館で、第2回農産物料理コンテストの試食審査が行われました。これは、田子町の農産物の食べ方やおいしさを広く伝えていくために町と田子町農産物美人華プロジェクト委員会が開催したもので、第2回となる今回のテーマは、「田子町産にんにく」と「田子町産野菜」をあわせて使用したレシピです。

コンテストには、料理部門10品、



スイーツ部門 最優秀賞



料理部門 最優秀賞

スイーツ部門6品の出品があり、審査では、味や食感、アイデアの斬新性、料理のしやすさの他、田子町産の野菜の特性を活かしているかをポイントに審査が行われ、各賞が決定しました。

受賞者は左記のとおりです。(敬称略)

今回出品された料理は、SNSや町ホームページ等で公開されるほか、レシピ集が製作される予定です。

【料理部門】

最優秀賞 「カラフルピクルス」古田和子

優秀賞

- ① 「田子のだし」古田和子
- ② 「かぼちゃとコーンのスープ ガーリック風味」久保舞華・久保はるみ

優良賞

- ① 「ズッキーニのラザニア風」澤口晃子
- ② 「ガーリックシーチキンパスタ」稲村麻里
- ③ 「揚にんにくのジュネーズソース」古田和子

【スイーツ部門】

最優秀賞 「トマトチーズケーキ」山市愛唯音

優秀賞

- ① 「黒にんにくのカッサータ・サンド」大久保成
- ② 「にんにく入りマドレーヌ」藤村千鶴子

優良賞

- ① 「黒にんにくのベジタブル・カッサータ」澤口晃子
- ② 「ザクザクドーナツ」稲村麻里
- ③ 「野菜ゴロゴロの塩味パウンドケーキ」川名美夏



出品された料理

田子町オリジナル品種「たっこ1号」種子分譲

譲 (※写真1)

9月1日と2日、創遊村229ドームで田子町のにんにくオリジナル品種「たっこ1号」の種子の分譲が行われました。「たっこ1号」の種子の分譲は平成29年から町内の購入希望者を対象に行っており、6年目を迎えた今年は、2日間で32戸へ74ケースを分譲しました。

町では、今年、田子町でにんにくの生産を開始してから60年になることを記念して、令和6年度までの3年間、「たっこ1号」の種子を例年の半額で提供することとしています。種子を受け取りに来た農家は、「いろいろ高騰している中で、半額で手に入るのはうれしい」と話していました。町では、産地を守るためにも種の増殖と分譲を引き続き実施していく予定となっております。

映画監督相米慎二をしのぶ会 (※写真2)

9月3日、上相米の相米慎二慰霊碑前で「映画監督相米慎二をしのぶ会」が行われ、相米監督の兄・相米琢磨さんをはじめ関係者約10名が参加しました。

これは、「映画監督相米慎二を語りつぐ会」(山本晴美代表)の主催によるもので、相米監督をしのび、生前の功績をたたえ語り継いでいくことを目的とし、平成25年から開催されています。参加者らは、慰霊碑の前で手を合わせ、献花と献杯をし、相米監督への思いを馳せました。

しのぶ会終了後、兄の琢磨さんは、「町や語りつぐ会が、映画まつりや、しのぶ会を開催してくれて感謝している」と語りました。

世界黒にんにくサミット in 田子2022 (※写真3)

9月6日、タプロコピアンプラザホールで第6回世界黒にんにくサミットが開催されました。これは、協同組合青森県黒にんにく協会とNPO法人黒にんにく国際会議が主催するもので、青森県産黒にんにくの魅力の発信を目的に行われたものです。

主催者を代表して同協会の柏崎進一理事長より「にんにく生産開始60年の節目を迎えられたこの田子町で本サミットを開催することができ、皆様と共に喜びたい。今回のサミットは盛りだくさんの充実した内容となっており、皆さんに楽しんでもらいたい」とあいさつがありました。

田子町からは株式会社からの寶田喜美男代表取締役が、「フィリピンの黒にんにく生産を目指して」と題して、フィリピンで州や大学と覚書を交わし、にんにくの栽培や黒にんにくの加工技術を広めている実績を報告しました。



(写真1)「たっこ1号」種子分譲の様子



(写真2) 慰霊碑の前で記念撮影



(写真3) プレゼンをする寶田さん

しあわせのまちづくり 結婚祝い金贈呈式

(※写真4・5・6)

9月7日と15日・28日、役場公室で「田子町しあわせのまちづくり結婚祝い金贈呈式」が行われました。

この事業は、若者世代の夫婦が婚姻から継続して1年以上田子町に居住するなどの条件を満たした場合、夫婦に結婚祝い金を贈呈するものです。

贈呈式では、山本晴美町長が「幸せな家庭を築いてください」と結婚祝い金を手渡しました。対象となったご夫婦は「子どもが自由になんでもやれる明るい家庭を築きたい」「町からお祝いしてもらっているようでとてもうれしい」「ケンを力にしても仲の良い夫婦でいたい」と話していました。

今回で事業開始から62組目、今年度5組目の贈呈となります。

今回対象となったご夫婦は次のとおりです。

▽尾形蓮・真由子夫妻 (清水頭)

▽清水秀幸・麻樹夫妻 (七日市)

▽鹿嶋将佑・綾乃夫妻 (七日市)

自主防災体験研修会

(※写真7)

9月17日、中央公民館ホールで自主防災体験研修会が開催されました。これは、自主防災組織や自治会等を対象に、防災に係る基礎知識の習得や、防災まちあるき方法の習得等を目的に行われたものです。

はじめに、山本町長より、「今回の研修会ではみなさんとともに学び、来られなかった人にも教えられる研修会にしてほしい」とあいさつがありました。

研修会では、山口大学大学院創成科学研究科准教授 瀧本浩一氏(青森県防災アドバイザー)から「地域防災の考え方、進め方」と題して、個人や集団での災害

への備えの重要性についての講演がありました。次に、災害図上訓練として、各地域の地図を机に広げ、土砂崩れがあった場所一人暮らしで足の不自由な方の住んでいる場所等を参加者で話し合い、各地区の防災マップを作成しました。

明治安田生命との包括連携協定

(※写真8)

9月21日、役場第一会議室で田子町と明治安田生命保険相互会社との包括連携協定締結式・寄附贈呈式が行われました。

この協定は、二者が緊密な相互連携と協働による活動を推進し、地域のニーズに迅速かつ適切に対応し、町民の健康増進や町民サービスの向上を図ることを目的に締結されたもので、締結式では、同八戸支社の齋藤浩二郎支社長と山本町長が協定書へ署名をしました。協定締結により、健康づく



(写真4) 対象のご夫婦 (9月7日)



(写真5) 対象のご夫婦 (9月15日)



(写真6) 対象のご夫婦 (9月28日)



(写真7) 防災マップ作成の様子



(写真8) 寄附贈呈の様子

田子町と明治安田生命保険相互会社との包括連携協定締結式及び寄附贈呈式

たっこまち地域おこし協力隊☆活動録

◆廃棄されるにんにくの皮で出汁？

地域おこし協力隊の五十嵐です。先日、同志社大学4年生の学生が田子町にお試し地域おこし協力隊として4日間滞在してくれました。お試し地域おこし協力隊は、協力隊になる前に2泊3日以上で地域に滞在し、お試しで協力隊活動を行う制度です。



今回来た大学生は、田子町の食材を使って出汁作りをするというのが活動の主な目的でした。様々な農家さんを訪問しその中で目をつけたのが、廃棄されるにんにくの皮と、ピールの原料になるホップでした。ホップは苦みが強く出汁にはなりませんでしたが、ハーブティーのような色合いになり、香りや味がよければ商品にもなりそうな感じがしました。冷凍したニンニクの皮を昆布と合わせた出汁は、ただの昆布出汁よりも味わいが出て、参加者の方から好評いただいております。

今回の実践では商品化など具体的なところまではいっていませんが、こういった形で町外に住む方が少しでも田子町に関わってもらえるように、今後もお試し協力隊制度を活用していきたいと思っております。

◆最近の移住相談

こんにちは！ 地域おこし協力隊の木村知子です。最近、田子から遠い地域の方から移住のご相談を数件承っており、その中でも新規就農を希望する方が多く、私も日々勉強させていただいております。制度として、ある程度の平米数の農地を確保しなければならないこと、また初期費用が多くなることなどのリスクがあり、なかなか覚悟がないとできないことです。田子町のにんにくが全国から注目されていて、移住してにんにくを育てたいと思ってくれる若い世代の方が増えることはとてもうれしいことだと感じています。食べ物を作る農家さんはすごいなあと、いつも尊敬の念を持っています。ありがとうございます。今後もよりよい定住移住のアテンドができるように努めていきます。

◆3回目のパン教室

こんにちは！ 地域おこし協力隊の木村治樹です！

先日、文化観光交流施設みろく館でパン教室を行わせていただき、シナモンアップルロールを作りました。今回より、午前と午後の2回に分けて行い、町内外の計8名にご参加いただきました。三つ編みを駆使した成型に、皆さん四苦八苦しながらも、実に楽しく、終始にぎやかな雰囲気の中で、挑んでくれました。大変な作業を終えて、おいしそうに焼きあがったパンを見ては、皆さん本当に喜んでくださいました。正直、自らが先生と呼ばれるのは恐縮ですが、参加される皆さんが喜んでくれる機会になったことが、本当に喜ばしいことでした。今後も2カ月に1回のペースで行いますので、皆様のご参加をお待ちしております。



り、産業・観光支援、スポーツ振興等で連携協力していくこととなります。

また、協定締結後には寄附の贈呈が行われ、同社が行う「私の地元応援募金」により八戸支社従業員270名から集められた募金と会社拠出金とを合わせた10万1500円が田子町に贈られ、町が実施する「子ども医療費助成事業」の財源として活用することとしています。

横断歩道では必ず安全確認！ 秋の全国交通安全運動

安全運動 (※写真⑨)

9月21日から30日までの10日間、秋の全国交通安全運動が実施されました。田子町では期間中、町内6カ所朝の街頭指導が行われ、三戸地区交通安全協会、田子支部や三戸地区交通安全指導隊、田子町交通安全母の会連合会の方々が、登校する児童・生徒

や行き交う運転者へ、交通安全を呼びかけました。

21日には役場付近の道路で、道路を横断する児童・生徒が立ち止まって安全確認を促す「ストップマーク」シートの張替え作業を行いました。「ストップマーク」は、たっこ王子をモチーフに作成された特注品のものもあり、児童・生徒が交通安全を意識する工夫が施されています。



(写真⑨)「ストップマーク」の張り替え



交通死亡事故ゼロ

みろく 3690日を目指しています！

11月も引き続き、日暮れが早く薄暮から夜間の事故が多いとされています。特に、歩行者の横断を見落とさないために、安全確認を怠らないよう注意しましょう。



令和5年度田子幼稚園利用案内

令和5年4月1日からの入園児童を募集します。

▼募集園児 30名

▼対象

◎満3歳児 令和2年4月2日～令和3年4月1日までに生まれた子（満3歳の誕生日を迎えた翌月から入園できます）



◎3歳児 平成31年4月2日～令和2年4月1日までに生まれた子

◎4歳児 平成30年4月2日～平成31年4月1日までに生まれた子

◎5歳児 平成29年4月2日～平成30年4月1日までに生まれた子

▼教育時間 満3歳児・3歳児 午前9時～午後1時
4・5歳児 午前9時～午後3時

▼預かり保育

【午前】午前7時30分～教育時間開始前まで

【午後】教育時間終了後～午後6時30分まで
(月曜日～金曜日 長期休業中の平日)

▼入園料保育料 無料

▼給食費 1食260円ですが、町の規則により（保護者の所得など）利用者で異なります。給食費軽減事業は全員が対象となり、年度末に1/3の補助を受けることができます。

▼受付期間

11月1日（火）～11月30日（水）※期限厳守

※ただし、期間外も随時受付をしており、新年度途中での入園も可能ですので、その場合はお問い合わせください。

願書は田子幼稚園、教育委員会教育課（中央公民館）、役場住民課子育て定住移住支援室にあります。

※所定の願書にご記入のうえ、田子幼稚園または役場住民課子育て定住移住支援室まで提出してください。

問 田子幼稚園（大向） ☎ 32-2340

問 役場住民課子育て定住移住支援室（川村・梅内）
☎ 23-0678

青森県最低賃金が変わりました

10月5日から 時間額 **853円**

「青森県最低賃金」は、産業や職種にかかわらず青森県内のすべての事業所で働く労働者に適用されます。パートタイムの方、アルバイトの方もすべて対象です。

なお、通勤手当や家族手当をはじめ、最低賃金額の算定に含まれない賃金がありますので、詳しくは下記へお問い合わせください。

問 青森労働局労働基準部賃金室 ☎ 017-734-4114
または最寄りの労働基準監督署にお尋ねください。

令和5年度認定こども園利用案内

令和5年4月1日からの入園児童を募集します。

▼募集人員

たっここども園120名 かみごうこども園10名

▼対象児童 令和5年4月1日現在、満6カ月以上で満5歳以下の子

※現在入園していて、引き続き入園を希望する場合も申し込みが必要です。



▼入園申込に必要なもの

①支給認定申請書兼保育利用申込書（町指定のもの）

②保育を必要とする事由を証明する書類として、保護者の就労（予定）証明書、就労状況申立書（農業・自営業等）、就労誓約書（求職活動中）等

※就労宣誓書等の場合、後日聞き取り調査があります。

③世帯の状況を証明する書類として、ひとり親世帯の場合は、ひとり親家庭等医療費受給資格証または、児童扶養手当証書、障がい者（児）同居の場合は、手帳・証書または障害基礎年金等の受給を証するもの

▼保育料 国の基準に基づき、町で決定します。令和5年4月～8月分の保育料は令和4年度町民税額から算定し、令和5年9月～令和6年3月分の保育料は令和5年度町民税から算定します。

▼給食費 1・2号認定子どもの給食費（主食費及び副食費）は利用者実費負担となります。なお、保護者の負担すべき給食費相当額の1/3の助成を受けることができます。

▼受付期間

11月1日（火）～11月30日（水）※期限厳守

※ただし、新年度途中での入園も可能ですので、その場合はお問い合わせください。

▼申込受付場所 役場住民課子育て定住移住支援室

申込用紙等は、役場住民課子育て定住移住支援室と各こども園にあります。

▼その他 各こども園で延長保育を実施し、また、たっここども園では一時保育、病後児保育も実施しています。申し込みは各こども園まで。

問 役場住民課子育て定住移住支援室（川村・梅内）

☎ 23-0678

後期高齢者医療被保険者のみなさまへ

●被保険者証の返却のお願い

窓口負担が2割になった方に、9月中に新しい被保険者証を交付し、古い被保険者証の返却をお願いしています。まだ返却されていない方は、被保険者証交付時に同封した返信用封筒にて返却くださるようお願いいたします。



問 青森県後期高齢者医療広域連合 ☎ 017-721-3821

■ 事業主の皆さんへ 従業員の個人住民税は「特別徴収」が義務づけられています

所得税の源泉徴収義務がある事業主は、個人住民税(町(村) 民税と県民税をあわせた地方税のこと)についても、事業主が従業員に代わり毎月支払う給与から税額を引き去り納める「特別徴収」が義務づけられています。事業主は、来年1月末までに、対象となる従業員の分について、給与支払報告書を、特別徴収として町(村)に提出してください。

県と町(村)では、個人住民税の特別徴収制度の周知と徹底に取り組んでいます。皆様のご理解とご協力をお願いします。

▼対象 前年中に給与の支払いを受け、かつ当年の4月1日において給与の支払いを受けている従業員

問 役場税務課(袖村) ☎20-7112

問 三八地域県民局県税部納税管理課
☎0178-27-5111 内線356



■ 町立田子診療所からのお知らせです 医療職員大募集!!

田子町民のため地域医療に携わってみませんか!!

職種	採用人数	年齢	受付期間
看護師	若干名	60歳未満	随時
准看護師	若干名	60歳未満	随時
診療放射線技師	1名	55歳未満	随時
臨床検査技師	1名	55歳未満	随時
理学療法士	1名	55歳未満	~12/28

※身分は地方公務員となります。

▽職種ごとの給与・ボーナス・その他手当、▽仕事の内容、▽受験資格・お申し込み方法・採用時期など、どうぞお気軽にお問い合わせください。

ご家族の方やご親戚の方、お知り合いの方などへも広くご周知願います。

問 町立田子診療所事務局(加藤、菊地) ☎32-3171



■ 確定申告はスマホからがおすすめです

スマホ申告には、「自動計算、自動入力、自宅からの申告」と多くのメリットがあります。

スマホにマイナポータルアプリをインストールし、「マイナンバーカード」を利用すると、簡単手順で申告できますので、「マイナンバーカード」の取得など早めの準備をお願いします。

なお、スマホ申告は、税務署で取得したID・パスワードによる申告も可能です。例年、確定申告書作成会場は大変混み合いますので、今のうちから、「マイナンバーカード」等を利用した「自宅からのスマホ申告」の準備について、ご検討ください。手続き等でご質問がある場合には、税務署までお問合せください。

問 八戸税務署個人課税第一部門
☎0178-43-0141(代表)



■ 浄化槽を設置されている皆さんへ 浄化槽の法定検査を受けていますか

浄化槽は、微生物の働きを利用して汚水を浄化するため、適正な維持管理が必要です。そのため、浄化槽法では次のことが義務付けられています。

- ① 定期的な保守点検
- ② 年1回以上の清掃
- ③ 法定検査の受検(使用開始後1回とその後、年1回)

法定検査は、浄化槽が適正に設置され、維持管理されているか、浄化機能が十分に発揮されているかを判定するもので、一般社団法人青森県浄化槽検査センター(☎017-726-9500)が行います。

また、浄化槽の使用開始時や廃止時、所有者の変更時などには、三八地域県民局環境管理部(☎0178-27-5111)への届出等が必要です。

SCRUM EIGHT 八戸圏域連携中枢都市圏 エイト 連携中枢都市圏の取組を紹介します!

八戸都市圏交流プラザ運営事業

八戸圏域では、首都圏での圏域ブランドの認知度向上や販路拡大のほか、関係人口の増加や移住・定住・UIターン促進などを図るため、令和2年9月、東京都内に八戸都市圏交流プラザ「8base(エイトベース)」をオープンしました。

8baseでは、圏域8市町村の食材を使った料理の提供や地場産品の販売のほか、圏域のファンづくりのための交流イベントなどを開催しています。

問 八戸市政策推進課 ☎0178-43-9260

外観 帝国ホテル

第一ホテルアネックス 第一ホテル東京

JR新橋駅 日比谷口を出る

LABI新橋 SL 広場

JR有楽町駅 日比谷口を出る

有楽町電気ビル

日比谷 ショッピング

ここから日比谷 OKUROJIに入る

ここから日比谷 OKUROJIに入る

販売している地場産品

交流イベント

【アクセス】JR新宿駅・JR新橋駅から徒歩6分「日比谷OKUROJI」内
【営業時間】11:00~22:00(定休日:年末年始)

■ 猫の適正飼育について

外飼いの猫や、飼い主のいない猫による、糞尿被害や騒音、侵入、ごみを荒らすなど生活環境の悪化の苦情や、「不適切な管理による餌やり等で猫が増えて困る」、「猫が捨てられる」など、様々な苦情が寄せられています。猫が好きな人もいれば苦手な人もいます。モラルやマナーを守り、近隣の方へ配慮した飼い方をすることが必要です。



● 猫を飼っている方へ

以前は、「猫は外で飼うもの」という風潮が多数ありましたが、人々の生活様式の変化などから猫の飼い方に対する考え方も変わってきています。

○ 室内飼育をしましょう

病気の感染防止、不慮の事故防止等、猫の健康と安全のために、できるだけ室内で飼うようにし、猫の健康と安全の保持に十分配慮しましょう。

○ 去勢・不妊手術をしましょう

子猫が生まれても、適正に飼える場合を除いて去勢手術、不妊手術等繁殖制限の措置を講じましょう。

猫は繁殖力がとても強く、猫1頭が1年で20頭以上に増えることもあります。

○ 名札をつけましょう

猫には飼い主がわかるように名札等をつけましょう。他に、マイクロチップなども有効です。

問 役場住民課住民環境グループ (大橋) ☎ 20-7113

■ 水道の凍結について

12月～3月にかけて、水道の凍結事故が多発します。水道が凍結すると、水が出なくなるだけでなく、凍結修理に費用がかかりますのでご注意ください。



また、次のようなときは、水道の凍結の恐れがありますので、注意が必要です。

▽ 外気温がマイナス4℃以下になったとき。

▽ おやすみ前や、旅行などで家を留守にするなど、長時間水道を使用しないとき。

▽ 真冬日(1日中外気温が氷点下の日)が続いたとき。

◎ 水道の凍結防止について

水道凍結への対策は、次のようなことがあります。

▽ 水抜き栓(白またはオレンジのハンドル)を回し、水抜きをしっかりとやる。

▽ 水道管の保温(保温材や毛布、タオルなどを水道管に巻き付ける)

● 水抜きの手順

1. 蛇口がしまっていることを確認する。
2. 水抜き栓のハンドルを右に回す。(最後まで閉めてください。)
3. 蛇口を開ける。
4. 最後に蛇口に手を当て、吸い込まれる感じがすれば、水抜き完了となります。

※ 水抜き栓の場所

水抜き栓の場所は、台所・トイレ・洗面所・お風呂など各場所にあります。また、その中でも一目でわかるもの(蛇口付近)や床下、外付けの場合があります。目につかなければ、床にある蓋のようなものの中や家の外を探してみましょう。

◎ 水道が凍結した場合について

水道が凍結した時は、次のことをする必要があります。

1. ストーブ等の暖房器具を使って、室内をゆっくりと暖めましょう。
2. 露出している管(保温管などは取り外す)や、蛇口などにタオルを巻き付け、上からお湯をゆっくりかけると、水が出るようになります。

※ 解氷のため、蛇口などに直接お湯をかけたり、直火を当てたりしますと、破裂や火災の危険がありますのでご注意ください。また、熱湯ではなく、ぬるま湯(30℃～40℃程度)を使用してください。熱湯を使用しますと、蛇口や水道管の破裂の原因となります。

3. 解氷ができない、または破損してしまった場合は、水道業者に依頼してください。

※ 修理費用は、お客様のご負担となります。

問 役場建設課水道グループ ☎ 20-7118

かんたん野菜レシピ

サバ缶のみぞれ煮

(材料)

- 大根おろし (おろし汁を含む) 300g
- 鯖水煮缶詰 1缶
- 削り節小袋 1パック
- 酒 大さじ1、おろし生姜 小さじ2
- 醤油 小さじ1、みりん 小さじ1

(作り方)

- ① 鍋にすべての材料を入れ、落とし蓋をして火にかける。
- ② 沸騰後、弱火で5分ほど煮る。器に盛り、お好みでねぎをちらしたらできあがり。

★ 大根おろしには、肝臓の解毒作用を高める効果があります。おろし汁も捨てずにいただきましょう。

★ 鯖には脳を活性化させるDHAや血液をサラサラにするEPAなど、体にいい脂肪酸が含まれています。

(地域包括支援課栄養士 岡崎)



■行事等に関するお問い合わせは、田子町中央公民館 (☎20-7070 担当：山本)
または上郷公民館 (☎33-1811) までお願いします。

歴史講座

9月10日、国史跡・三戸城跡(三戸町)周辺を巡りながら歴史講座が行われました。この日は12名の受講者が参加しました。田子町文化財保護審議委員も務めている三戸町立歴史民俗資料館館長の木村明彦氏を講師に迎え、三戸城の堅固さや地域にまつわる歴史などについて学びました。



なお、歴史講座は、第1回目及び3回目、4回目は現地解説を踏まえた野外講座(定員あり)、2回目及び5回目は座学講座を予定しています。

健康ウォーク2022

季節ごとに町内外のルートを楽しめる「健康ウォーク2022」の山の学校ルートを9月25日に開催しました。

コースは、当初計画していた山の楽校スタートを青葉湖展望所スタートに、南郷朝もやの館ゴールを八戸市南郷歴史民俗資料館ゴールに変更しました。



この日は、14名が参加しました。前日は雨でしたが、当日は天候にも恵まれ、前半は青葉湖を望みながら後半は山林の中を歩きながらウォーキングを楽しみました。

最終回となる11月は、十和田市の高森山

総合運動公園をスタートし、自然と街並みを楽しむコースとなっています。詳細については、全戸配布されたチラシをご覧ください。

▽と き 11月3日(木・祝)

▽ルート名 疏水稻生川ルート

十和田市(高森山総合運動公園～新渡戸記念館)

・はっするコース：約8.3km

・おきがるコース：約4.0km

▽集合場所 中央公民館

▽集合時間 午前8時30分まで

▽受付

随時参加受付していますが、開催日の6日前までをお願いします。なお、申込後にやむを得ずキャンセルされる場合は、お早めにご連絡くださるようお願いいたします。

※各回定員20名となっております。定員を超えた場合は、参加を見合わせていただく場合がございますので、ご了承ください。

※新型コロナウイルス感染状況により中止となる場合がございます。

みんなでチャレンジ 公民館講座のお知らせ

●歴史講座

▽と き 11月5日(土) 午前10時～午後3時

▽ところ 田子町内(町内の文化財等)

▽内容 楽土(らくど)を巡る②野外講座

▽参加費 無料

▽定員 15名

▽持ち物 筆記用具・雨具等

※当日は、中央公民館内で受付してからバスで移動します。

※昼食代は自費でご負担いただきます。

●いけばな講座

▽と き 11月19日(土) 午後6時30分～8時30分

▽ところ 中央公民館研修室

▽参加費 花材代1,000円前後

▽持ち物 花鋏、水入れ用ポウル、タオル等

※1週間前の金曜日までの申込みが必要です。

●フラワーアレンジメント教室

▽と き 11月29日(火) 午後7時～9時

▽ところ 上郷公民館研修室

▽参加費 3,000円程度

▽内容 クリスマスアレンジ

※1週間前の月曜日までの申込みが必要です。

※日程や内容に変更が生じることもあります。講座情報はその都度TCVやデータ放送、チラシでお知らせします。

新型コロナウイルス感染防止対策により、各施設利用者にはその都度確認を求める事項がありますので、ご理解・ご協力のほどよろしくお願いします。

図書館情報

この一冊に、ありがとう

2022 第76回読書週間 10/27～11/9



●「2022貸出ランキング」特集



昨年の読書週間本の展示

秋の読書週間です。図書館では昨年の9月から今年の9月までの約1年間で、貸出の多かった本をランキング形式で約40冊紹介します。この機会にどうぞ図書館をご利用ください。

▼小説

- 星を掬う／町田そのこ
- 赤と青のエスキース
／青山美智子
- 塞王の楯／今村翔吾
- 護られなかった者たちへ
／中山七里

▼小説以外

- 10年かかって地味ごはん
／和田明日香
- 不安と折り合いをつけてうまいこと老いる生き方／中山恒子

▼郷土資料

- 青森のトリセツ
- 津軽伝承料理
／津軽あかつきの会

▼児童書

- パンどろぼうとなぞのフランスパン／柴田ケイコ
- あんなにあんなに／ヨシタケシンスケ



●古雑誌・古本お持ち帰りコーナー

▽期間 10月29日(土)から

※本がなくなり次第終了します。

▽対象

図書館の貸出券をお持ちの中学生以上の方。貸出券がない方は図書館カウンターでお作りください。

▽内容

「きょうの料理」「趣味の園芸」「やさいの時間」など図書館で購入し1年が経過した古雑誌や、除籍した古本などを決められた冊数だけ差し上げます。

図書館おやすみカレンダー

2022							11月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30										

▼色の濃い日が休館日です。

田子町立図書館(担当:川村)
☎20-7221

11月の図書館行事

- ▼11/2(水) 午前10時から
ブックスタート/せせらぎの郷
- ▼11/16(水) 午前10時から
セカンドブック/せせらぎの郷

図書館の開館時間

水～土 午前10時～午後6時
日曜日 午前10時～午後4時

図書館休館日

毎週月曜日・火曜日・祝日・第4木曜日
(館内整理日)

新刊案内

●社会、教育

- ▽「女子ボス」のトリセツ/361カ
- ▽ルポ誰が国語力を殺すのか/石井光太/372イ

●生活

- ▽暮らしのおへそ34/590ク
- ▽60歳からの疲れない家事/590ホ

●歴史・時代小説

- ▽名乗らじ/空也十番勝負8/佐伯泰英/913サ
- ▽はなごよみ〈草花〉時代小説傑作選/913ジ
- ▽鯖猫長屋ふしぎ草紙1/田牧大和/913タ
- ▽鯖猫長屋ふしぎ草紙2/田牧大和/913タ
- ▽竹笛/橋廻り同心・平七郎控15/藤原緋沙子/913フ
- ▽深川駕籠1/山本一カ/913ヤ
- ▽クリ粥/深川駕籠4/山本一カ/913ヤ

●ミステリー・警察小説など

- ▽三世探偵団4/赤川次郎/913ア
- ▽夜の道標/芦沢央/913ア
- ▽ハヤブサ消防団/池井戸潤/913イ
- ▽宮繕るかや怪異譚3/小野不由美/913オ
- ▽マル暴ディーヴァ/マル暴3/今野敏/913コ
- ▽競争の番人2/新川帆立/913シ
- ▽祈りのカルテ2/知念実希人/913チ
- ▽逃亡刑事/高頭冴子1/中山七里/913ナ
- ▽越境刑事/高頭冴子2/中山七里/913ナ
- ▽レッドクローバー/まさきとしか/913マ

●そのほかの小説など

- ▽介護者D/河崎秋子/913カ
- ▽英雄/真保裕一/913シ
- ▽レッドゾーン/夏川草介/913ナ
- ▽汝、星のごとく/凧良ゆう/913ナ
- ▽家裁調査官・庵原かのん/乃南アサ/913ノ

●エッセイ、川柳など

- ▽都会を出て田舎で0円生活ははじめました/田村余一/611タ
- ▽シルバー川柳12/911シ

■警察署コーナー

●特殊詐欺の被害をなくそう

県内では、有料サイトの未納料金名目やトラブル回避名目でお金をだまし取る架空料金請求詐欺が多発しています。また、特殊詐欺に発展するおそれがある不審電話や不審メールに関する相談も多数寄せられています。

◎架空料金請求詐欺

▽有料サイト未納料金名目

携帯電話に「**▽**」利用料金に関して、確認ができません。至急連絡してください」とメールが届き、記載された番号に電話すると、「有

料サイトの利用料金が未納です」などと言われ、一度支払うと、次々とお金をだまし取られる手口です。

■消防署コーナー

●高機能消防指令センター

一般公開中止のお知らせ

例年、11月9日前後の土曜日・日曜日の2日間開催しております「119番の日」高機能消防指令センター一般公開は、新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、中止いたします。

●NET119緊急通報システム導入

NET119緊急通報システムとは、従来の音声による通報が困難な方のため



料サイトの利用料金が未納です」などと言われ、一度支払うと、次々とお金をだまし取られる手口です。

▽トラブル回避名目

自宅に電話があり、「老人ホームに入居できる権利があります」などと言われ、断つても数日後に再び電話があり、「あなたの名義で他の人が入居しました」「名義貸しは犯罪です。解決には1千万円必要です」などと言われ、指定の口座に振り込むよう言われ、お金をだまし取られる手口です。

▼三戸警察署 田子警察官駐在所

☎32-3109

のスマートフォン等を利用して通報するもので、利用対象者は「八戸市、三戸郡おいらせ町に居住または通勤もしくは通学しており、聴覚障がい者及び言語障がい者または音声による通報に不安がある方のうち、身体障がい者手帳が交付されている方」と定めております。利用を希望する方は、消防本部ホームページより利用案内と利用規約を必ずご覧になったうえで登録をお願いいたします。

▼三戸消防署 田子分署 ☎FAX 32-3104

11月の主な保健・介護予防事業予定表

1 (火) 生きがい倶楽部 (老人福祉センター) 午前10:00～午後2:30	15 特定健診・がん検診 (中央公民館) 午前7:30～9:00
2 (水) 乳児健診 (せせらぎの郷) 午前10:00～正午	16 子ども健診 (せせらぎの郷) 午前9:30～正午
4 (金) 生きがい倶楽部 (上郷公民館) 午前10:00～午後2:30	17 「くらし」と「しごと」田子町無料相談会 (せせらぎの郷) 午後1:00～4:00
6 (日) 特定健診・がん検診 (中央公民館) 午前7:30～9:00	18 生きがい倶楽部 (上郷公民館) 午前10:00～午後2:30
7 (月) 特定健診・がん検診 (中央公民館) 午前7:30～9:00	20 介護職員初任者研修 (第13回) (せせらぎの郷) 午前9:45～午後5:05
8 (火) 生きがい倶楽部 (老人福祉センター) 午前10:00～午後2:30	21 特定健診・がん検診 (中央公民館) 午前7:30～9:00
9 (水) 予防接種 (せせらぎの郷) 午前10:30～正午	22 生きがい倶楽部 (老人福祉センター) 午前10:00～午後2:30
10 (木) 糖尿病予防教室 (せせらぎの郷) 午前10:00～正午	24 特定健診結果説明会 (原交流センター) 午前9:00～11:30
11 (金) 生きがい倶楽部 (上郷公民館) 午前10:00～午後2:30	25 生きがい倶楽部 (上郷公民館) 午前10:00～午後2:30
13 (日) 介護職員初任者研修 (第12回) (せせらぎの郷) 午前9:45～午後5:05	27 介護職員初任者研修 (第14回) (せせらぎの郷) 午前9:45～午後5:05
14 (月) 物忘れ・介護予防相談 (せせらぎの郷) 午後1:00～4:00	28 特定健診・がん検診 (中央公民館) 午前7:30～9:00
15 (火) 生きがい倶楽部 (老人福祉センター) 午前10:00～午後2:30	29 生きがい倶楽部 (老人福祉センター) 午前10:00～午後2:30

町の人口

令和4年9月30日現在

世帯数/2106 (+2)
人口/5030 (-11)
男/2439 (-5)
女/2591 (-6)
() 内は前月比です

誕生

●川端悠叶 (栄光・あや) / 野面
※ () 内はご両親、「/」のあとは行政区です

お悔やみ

●藤村勇吉 (87歳) 杉本
●田中マツ (83歳) 遠瀬
●佐藤ひろ子 (84歳) 飯豊
●奥家 守 (92歳) 池振
●川守田毅一 (93歳) 下本町
●岡崎陽子 (68歳) 中本町
●砂子田義一 (96歳) 山口
●宮川スミ (82歳) 野面
※ () 内は享年、「/」のあとは行政区です

心の相談窓口

役場地域包括支援課 ☎20-7100

学校の話題 たつこいんども園

たつこいんども園では、地域の方のご厚意により、畑でじやがいもや、さつまいもの植え付けから、収穫にいたるまでを経験させていただきました。ひとつだった種芋や苗から土の栄養と太陽の恵みを受け、たくさんの実を实らせ、こどもたちの自身の手によって収穫を行いました。手を真っ黒にしながら、丸々と大きくくなった芋たちに立ち向かう子どもたち。一人では取り切れないと分かったら、子どもたち同士で声を掛け合い、まるで物語の「おおきなかぶ」のようにお友達とつながりながら収穫を楽しんでおりました。



収穫したお芋のお味は格別だったようで、「僕がとつたじやがいものコロツケがおいしかった!」「ポテトチップにしてたべた!」と嬉々とした表情で、ご家庭でお料理の様子から食卓に並ぶまでの様子をお話ししてくれました。

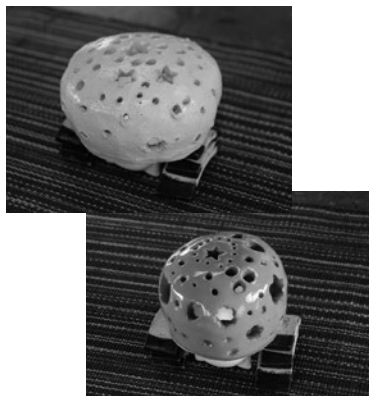
畑には、様々な野菜が実っており、「ナスってお花が咲くの?」「でっかい葉っぱは、なんのお野菜?」と野菜に興味をもつて接する貴重な機会となりました。

プランターや庭先で、お野菜を育て、慈しむこと、「実際に見て体験する」ことで、お子様がお野菜に向き合える日が来るかもしれません。
(原稿・画像提供 たつこいんども園)

陶芸

陶芸作品

陶芸クラブ 陶寿延 (代表 長澤静子)



「角皿」

作者：田村恵美子
陶芸技法のひとつ「たたら」で作りました。ピンク色の「雨もり」も出て、とても気に入っています。

陶芸にチャレンジしてみませんか？ 毎週火曜日・水曜日に活動しています。興味のある方は、役場住民課(☎20-7119)までご連絡ください。

(広報担当 ヤマウチ)

「メルヘン」

作者：千葉日向
形がくずれないように、穴を開けるのがむずかしかったです。また、作りたい!! ※夏休みに体験した小学生の作品です。

編集後記

今月号では、「今月の話題」のコーナーで「にんにくとべこまつり」の特集をしました。新型コロナウイルス感染症の影響で3年ぶりの現地開催となります。コロナ禍では、オンラインなどによりお肉の引き換えを行っていましたが、ひさびさの229スキラントでの開催です。私も、現地での準備に参加し、駐車場の区画をしたんですが、3年前とは若干地形が変わっていて、以前と同じように区画ができない場所もありました。3年もイベントを開催していないと、いろいろと勝手が変わってしまうようです。今年度は、いろいろなイベントが再開し始めていて、来年には、コロナ禍前のようにイベントができるようになればいいですね。



上郷小学校 最後の稲刈り体験



9月27日、上郷小学校の学校田で全校児童と保護者による稲刈り体験が行われました。「今まで協力してくれたお家の方、上郷の大自然に感謝して上郷小学校最後の稲刈りを思い出に残



しましょう」という大角貫校長のあいさつの後、PTA会長の畠山貴幸さんから稲を刈るポイントを教わり、稲刈りを始めました。

稲を刈る人・ひもで結ぶ人・運ぶ人とみんなで分担して刈り終わりました。刈り取ったお米は、Takko Farmer's Marketで販売され、売上げた収益で餅米を購入し、12月の収穫祭で餅を作って食べることになっています。



はじめてのハッピーバースデー

令和3年10月に生まれた満1歳のお友だちです。



●青木美古都ちゃん
R3.10.5

(七日市・女の子)

おいしいのポーズ♪ 最近、誰にでもハイバイするように。これからもいろんな人とふれあい、笑顔で過ごそうね♥

おじいちゃん、おばあちゃんとお月見会

9月9日、田子幼稚園の祖父母参観日でお月見会が開催されました。お月見会では、おじいちゃん、おばあちゃんと一緒に撮った写真を貼った車のおもちゃに、園児たちが新聞紙や模造紙等で作ったイチゴやりんご、ぶどう等のフルーツをのせてお供えをしました。



その後、食生活改善推進員会会長の釜淵妙子さんによる食育講話が行われ、野菜を食べることの大切さや、好き嫌いをせずに食べることの大切さ等についてのお話を聞きました。講話の後は、食生活改善推進員会の方が作った料理を食べました。星形の人参やうさぎの形をしたかまぼこが入った月見うどん等、お月見会に花を添える料理に園児たちは喜んでいました。



地域おこし協力隊が取材！ 町内店舗の紹介

第6弾

みろく亭



店主の原田光榮さんが1985年に創業されたお店は、当初「御食事処はらた」として、惣菜なども売る定食屋だったそうです。当時は5～6人程の従業員を雇い、始められたそうですが『開業時にかかった借金の返済は大変だった。何度も辞めようと思った』と語り、苦しい状況が続いたようです。

そんな中で、娘さんの絵里加さんが手伝ってくれるようになり、なんとか借金の返済も終わったことをきっかけに、約20年前にラーメン屋としての業務形態に転換されました。そこからラーメンの基本となる出汁作りのために、指導員の厳しい助言を仰ぎ、煮干しを主とした今の味にたどりついたとのことだそうです。

店頭やガーリックセンターでも販売されている「雷味噌」はご飯のおかずにもなる一品。お店に来たワンパクな子どもたちに、叱咤激励を繰り返し

ていた光榮さんが「雷ばあちゃん」と呼ばれていたところから名をつけたそうです。その逸話が示す通り、普段からお客様との触れあいを大事にしているようで『みんなに元気になって帰ってほしい』『体が動くうちは続ける!』とのこと。いつも元気な光榮さんに会いに、どうぞ足を運んでみてください。

●木村隊員のおすすめ料理

「ニンニク牛モツ味噌ラーメン」

柔らかいモツと、一片丸ごと入ったんにんにくに雷味噌が絡んだ味。

▼営業時間 9:00～14:00
16:00～18:00
▼定休日 月曜
▼電話番号 32-2774